

前奏	黙想	祈禱	
讚美歌	7 主のみいつとみさかをと	讚美歌	294 みめぐみゆたけき
祈禱		献金	
信仰告白	使徒信条	讚詠	547 いまささぐるそなえものを
聖書	イザヤ書 27:1	黙禱	
	マタイによる福音書 14:28~31	主の祈り	564
讚美歌	308 いのりはくちより	頌栄	540 みめぐみあふるる
説教	『信仰の薄い私たち』	祝禱	後奏

弟子たちは強いられて渋々舟に乗った(マタイ14:22)、逆風に吹かれて対岸に辿り着けず、さりとて元へ戻ることもできなかった(14:24)。イエスは山で祈っていて舟にはいない(14:23)。ひと晩中難儀した夜明け近く、幾つかの不可思議なことが起こった。一つ目は、イエスが湖を歩いて弟子たちの舟に近づいたこと(14:25)。二つ目は、イエスが舟に乗ると大風が収まったこと(14:32)。そして三つ目は、ペトロも水面を歩いたこと(14:29)。三つ目のことはマタイ福音書だけにあり、今日はそこに注目しよう。

山々に囲まれたガリラヤ湖は度々気象が激変し、夜の湖は非常に危険。弟子たちは夜の漁もしたが、沿岸で網を打つ程度だった(ルカ5:5)。そもそも海(湖)の暗い底には魔物が住んでいて、夜になるとそれらが跋扈する海。「その日、主は、厳しく、大きく、強い剣をもって、逃げるレビヤタン、曲がりくねる蛇レビヤタンを罰し、また海にいる竜を殺される(イザヤ27:1)」。竜と同じくレビヤタンも海の怪物。

弟子たちはイエスに強く勧められ、夕暮れ迫る海へ漕ぎ出し(マタイ14:22)、嵐に遭って恐怖は倍増。一晩中怯えたあげく夜明け近くの薄暮の中、波の間を歩いている「幽霊」を見た(14:26)。ここで恐怖は頂点に達する。すると幽霊と見間違われたイエスは、風音に吹き消されないほどの大声で「安心しなさい。わたしだ。恐れることはない(14:27)」と言った。これまでに数多の奇跡を見せられて来たが、波間を沈まないで歩くような超常現象は初めてだ。弟子たちは腰が抜けたまま、啞然としていた。

するとペトロは、とんでもないことを言う。「主よ、あなたでしたら、わたしに命令して、水の上を歩いてそちらに行かせてください(14:28)」。いったいペトロはどういうつもりなのか。幽霊ではない本当のイエスなのか、と確かめたかったか。他者に対しても水の上を歩かせられるほどの力があるか、試したのか。あるいは、俺はどれほどこの人を信じているのか、という自分への挑戦だったか。

「イエスが〔来なさい〕と言われたので、ペトロは舟から降りて水の上を歩き、イエスの方へ進んだ(14:29)」。ペトロがどのように水の上を歩き出したか、想像できる。「来なさい」というイエスの声に促され、逡巡と躊躇を抱えたまま、足場を捜すように、慎重に踏み出した。「しかし、強い風に気がついて怖くなり、沈みかけたので、〔主よ、助けてください〕と叫んだ(14:30)」。歩き出してみても、おっつけるじゃないか、とススッと進むと思いきや、今一步の所で恐怖心に捕らわれて沈みかけた。この感じ、経験的に分かる。私たちには今一步の所で、邪念と言うか、余計なものが入り込みやすい。

「イエスはすぐに手を伸ばして捕まえ、〔信仰の薄い者よ、なぜ疑ったのか〕と言われた(14:31)」。手を差し伸べられ、かろうじて助かったペトロは何を感じたか。「信仰の薄い者よ」と言われて、情けない己が信仰心に恥じ入っただろうか。いや、様々な気持ちがない交ぜになって、心の底から喜んだ。

「信仰の薄い者よ」とは非難ではない。イエスは呆れて微笑んでいる。情けなくもあるペトロの感激、分かるよ。自分を省みてみよう。信仰が薄いまま、疑うまま、自分を試してみたくなる者ではないか。

私たちは「主よ、わたしに命じてください(14:28)」と祈る。するとキリストは「来なさい(14:29)」と求めに応じて迎えてくれる。ところがその道筋で「信仰の薄い(14:31)」私たちの試みは、自分の恐怖心や邪念で沈みかける。すると手が差し伸べられ、抱きかかえられる。「しょうがねえなあ」と。

「なぜ疑ったのか」と問われ 何をどう疑ったか思い巡らせる キリストの愛を疑ったのではない
自分が信じているのかを疑った 分ることより遥かに広く深いキリスト 結局は自分を疑っている
9/29(日)2:30~4:30 分区委員会(愛宕町教会)、青柳均さんと牧師が出席。 9/27(金)宗教法人化の
打ち合わせへ河野役員と牧師(山梨県庁)。 牧師の動き:9/24(火)分区教師会(甲府教会)。

礼拝堂・集会所の住所: 408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ: 408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

eメールは komechan.olive@gmail.com HPは「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。